

令和6年度「星空を楽しむ」 実施報告書



I 事業の概要

1. 期 日 令和6年11月16日(土)～11月17日(日) 泊2日

2. ねらい

星空観察を通して、宇宙や自然環境について興味関心を持ち、雄大な自然の中で星空観察することで、自然環境の素晴らしさや大切さに気づき、故郷を愛する気持ちを育てる。

3. 講 師 山陰モバイルプラネタリウム 小川敦司氏 倉吉自然科学研究会 中本義明氏

4. 対 象 小・中学生とその家族 12組

5. 応募者 17組 45名

6. 参加者 10組 27名

7. 参加費 1,900円

8. 日 程



11月16日(土)	11月17日(日)
16:00 受付開始	7:00 起床
16:30 出会いの集い	7:30 掃除
16:50 交流レクリエーション	8:00 朝食
17:40 オリエンテーション・荷物移動	9:00 退所点検・荷物移動
18:00 夕食・休憩	9:20 クラフト体験(葉っぱのトートバッグ作り)
19:00 星空観察 プラネタリウム	10:15 感想記入
20:30 入浴	10:30 別れのつどい
22:00 就寝	10:45 解散

II 実施状況

■1日目の活動の様子<11月16日(土)天候 晴れ時々曇り>

出会いのつどいでは、職員自己紹介の後に、家族ごとに自己紹介を行った。2日間ともに過ごす参加者同士、明るい雰囲気で行われた。

出会いのつどい後、交流レクリエーションを行い参加者同士の親睦を深めた後、2日目のクラフトで使う材料を拾いに外に出た。葉っぱを拾いながら、紅葉が始まっている船上山の景色を楽しまれた。



オリエンテーションで施設の使い方の説明を受けた後、夕食を取った。夕食は星空にちなんだメニューで、星の形の食材や宇宙人の形をしたウインナーなど見た目と味で二度楽しめるものであった。

2班に分かれて星空観察・プラネタリウムでの2つの活動を行った。星空観察では、望遠鏡を用いて月のクレーターや土星の環を観察したり、夜空に見える星について中本さんに説明してもらったりして秋の星空を楽しまれた。体育館に設置したプラネタリウムドームでは、秋の星座の解説と、星座の成り立ちについての番組を上映し、館内でも星空に関する活動に満足していただけた。小川さんと中本さんには、時間いっぱい参加者が楽しめる活動を提供していただいた。

■ 2日目の活動の様子<11月26日(日)天候 晴れ>

2日目は朝食後、クラフトで葉っぱのトートバッグを作ってもらった。1日目に拾った葉っぱをトートバッグの上に自由に配置し、アクリル絵の具で着色してトートバッグに色を写した。色を重ねたり葉っぱの配置を変えたりして、思い思いの作品を作っていただいた。参加していた子ども同士で作品を見せ合ったり、保護者の方が子どもにアドバイスをしたりする姿が見られるなど、家族の絆を深める場面を見ることができた。



Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ プラネタリウムでほしをせつめいされて、「ほしってきれいでちゃんと
いみがある」とわかりました。
- ・ 星の観察を望遠鏡で初めてしたが、土星の輪っかや月のクレーター
を見て感動した。
- ・ 望遠鏡で土星をみて宇宙に行ったかんじになりました。
- ・ ふだんは見られない土星が見れてうれしかったです。また時間があ
ったら星座を見てみます。みんなと仲良くなれてよかったです。

2. 成果

- ・ プラネタリウムや星空観察は新鮮で学びも多いと感じる。今回抽選
に外れた参加者もあるので、今後も主催事業などで実施していきたい。
- ・ 専門知識を持っている講師の方に来て説明していただいたことで、
参加者の星空への関心をさらに高めることができた。
- ・ 葉っぱのトートバッグ作りでは、木々の紅葉も始まり自然を楽しみ
ながら活動していただけた。
- ・ チラシに池谷さんの素晴らしい星空の写真を使わせていただいた
が、可能であれば今後もそのような写真を使用して広報活動につなげていきたい。

3. 課題

- ・ 気温に応じてレクホールに出していたベンチを出すのかどうか検討が必要。
- ・ 月が明るくて星が見えにくかったこともあり、開催日時についてより星空が見えやすい期間に開催
するよう日程の調整が必要だと感じた。